

# 金型専用工場を新設

伊藤  
製作所

## デジタル化など推進

【津】伊藤製作所 つなげる。

（三重県四日市市、伊藤澄夫社長）は、本社近くに金型専用工場「テクニカルセンター」を新設する。本社工場の金型製造部門を全面移転し、6月の本格稼働を目指す。総投資額は約5億4000万円。テクニカルセンター新設で金型製作でデジタル化などを推進し、自動車向け金型などで付加価値の創出に

テクニカルセンターは2階建てで、延べ床面積940平方メートル。レーザー元素分析機や電子顕微鏡、3次元形状測定機などのほか、コンピュータ利用解析（CAE）ソフト、超精密平面研磨機、順送り用精密プレス機などの最新設備を導入する。

自動車部品の材料の多様化や、品質の厳格化を受け、研究開発機

能の強化も狙う。伊藤社長は「金型製作の匠の技を若手技術者

に短期間で伝承し、さらに高度な金型技術に挑戦したい」と意気込む。同社の業績は堅調に推移しており、2022年3月期の売上高は前期比33%増の49億円となる見通し。